

# 小規模企業景気動向調査

[平成29年2月期調査]

～売上額や業況に改善が見られるも、なおも動きが弱い小規模企業景況～

2017年3月30日  
全国商工会連合会

## ＜調査概要＞

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2017年2月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

## ＜産業全体＞ ◇…売上額や業況に改善が見られるも、動きが弱い小規模企業景況…◇

2月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)はわずかに改善した。項目別では、売上額DIが小幅改善、採算DIと資金繰りDIがわずかに悪化した。経営指導員からは、建設業の売上額に関して言及するコメントが目立つ一方で、業種に関係なく人手不足が継続し、深刻さが増しているとの報告があった。また、2月24日に行われたプレミアムフライデーについては、誘客要素となりうるも消費に結びついていないとの報告があった。

## ＜製造業＞ ◇…円安や地域により一部業種に注目が集まり売上が上昇するも、利益には結びつかない製造業…◇

製造業の業況DIは、先月と比べ不変であった。売上額DIが小幅な悪化、採算DIがわずかな悪化、資金繰りDIのみがわずかに改善した。経営指導員からは、自動車部分品・附属品製造業や金属製品加工業の仕事が活発になってきているほか、ふるさと納税の返礼品として地域の水産、畜産加工品関連の製造業が緩やかではあるが売上が上昇し続けているとの報告がある一方で、先月から続く漁獲高の落ち込みが回復せず、原料高が続いているため、利益を圧迫しているとの報告があった。

## ＜建設業＞ ◇…売上額DIが2桁改善を示すも、採算は改善しない建設業…◇

建設業の業況DIは、先月と比べわずかな改善に留まった。先月2桁の悪化を示した売上額DIは10.5pt改善し、採算DIは不変、資金繰りDIは小幅な悪化となった。公共工事の発注が増えたため売上額が増加するも、受注単価の低下や建築資材の上昇、慢性的な人手不足などが重なり、利益の確保がままならないとの報告があった。

## ＜小売業＞ ◇…節約志向や人手不足などにより、低調が続く小売業…◇

小売業の業況DIは、わずかに改善した。売上額DIは小幅悪化、採算DIと資金繰りDIはわずかな悪化となった。地域によっては、冬物衣料の売上が堅調であったとの報告がある一方で、厳冬小雪のため、灯油の売上は伸びたが、除雪車向けの軽油の販売が大きく減少した。また、消費者の節約志向や入学シーズンを迎え学用品等需要が高まるが、少子化のため対前年割れが続いているとの報告があった。

## ＜サービス業＞ ◇…わずかな改善が見られるも、まだら模様のサービス業…◇

サービス業の業況DIは、わずかに改善した。項目別に見ると、売上額DIは小幅な改善、採算DIはわずかな改善、資金繰りDIは不変となった。経営指導員からは、①初春の観光シーズンに入り、地域によっては売上・客数が増加し業況が改善している、②運送業では大手運送会社の運賃の値上げに伴い、中小運送会社の運賃値上げの機運が高まっており、将来的な収益の改善が期待できるとの前向きな報告がある一方で、③クリーニング業では消費者の節約傾向や低価格衣料品の増加、④理美容業では低価格帯店の増加や消費者の利用回数減により売上の伸び悩みが深刻であり、回復の兆しが見えないとの報告があった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比
売上額	▲ 21.9	▲ 19.9	2.0	▲ 11.6	▲ 15.1	▲ 3.5	▲ 17.7	▲ 7.2	10.5
採算	▲ 20.7	▲ 21.2	▲ 0.5	▲ 15.0	▲ 16.5	▲ 1.5	▲ 19.9	▲ 19.8	0.1
資金繰り	▲ 15.5	▲ 16.3	▲ 0.8	▲ 13.6	▲ 11.9	1.7	▲ 13.2	▲ 16.1	▲ 2.9
業況	▲ 21.2	▲ 20.6	0.6	▲ 16.2	▲ 16.4	▲ 0.2	▲ 15.7	▲ 14.5	1.2

業種	小売業			サービス業		
	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比
売上額	▲ 31.2	▲ 34.2	▲ 3.0	▲ 27.0	▲ 23.0	4.0
採算	▲ 28.1	▲ 29.8	▲ 1.7	▲ 19.8	▲ 19.0	0.8
資金繰り	▲ 20.7	▲ 22.3	▲ 1.6	▲ 14.3	▲ 14.7	▲ 0.4
業況	▲ 31.2	▲ 30.6	0.6	▲ 22.0	▲ 21.0	1.0

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

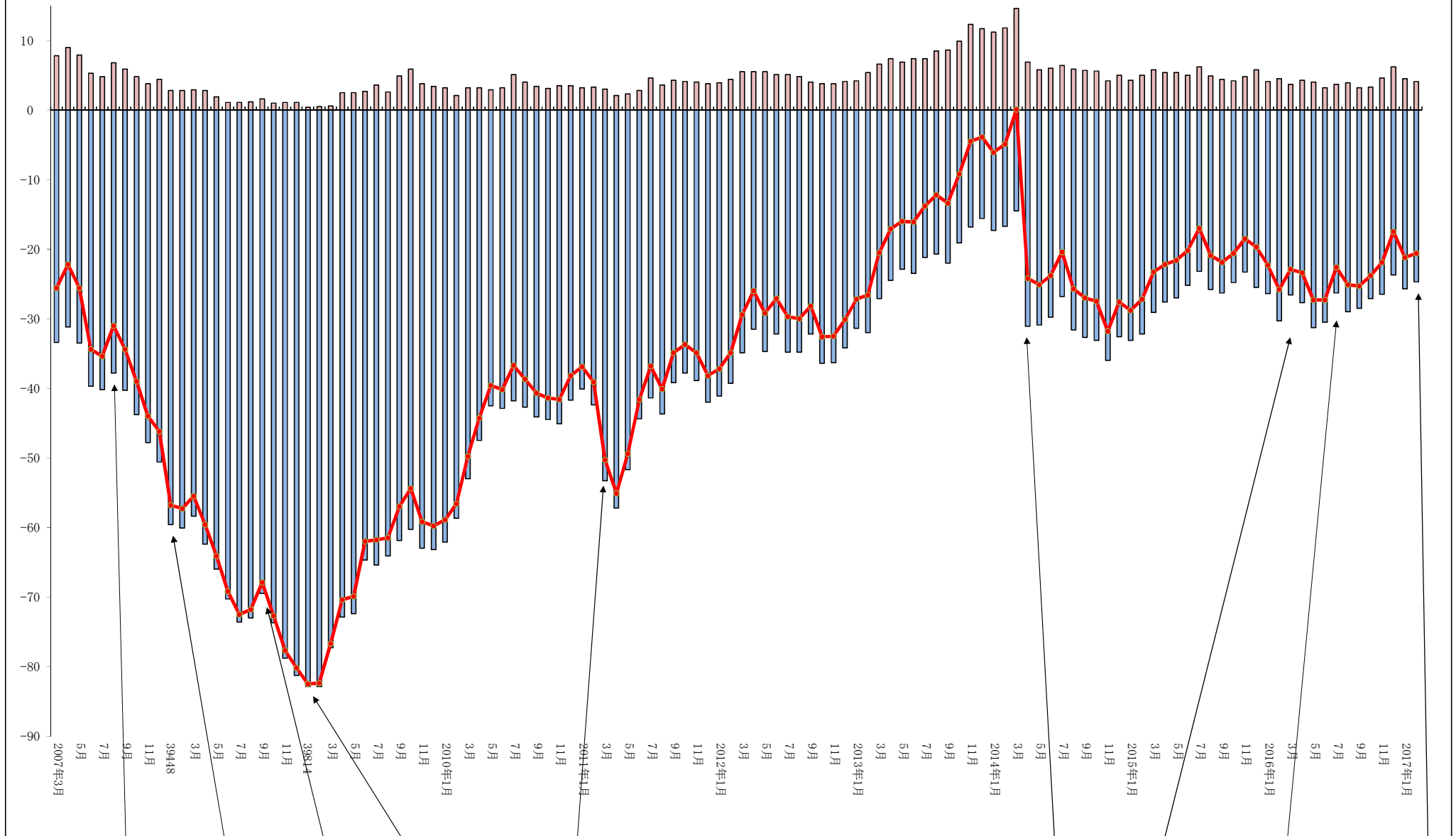
全国商工会連合会 企業環境整備課

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F TEL:03-6268-0085 FAX:03-6268-0997 担当:堀内

# 小規模企業景気動向調査(月次)

## 産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化  
■好転  
●DI



07年8月9日  
BNPパリバ、傘下の3ファンドの償還を一時凍結

08年1月2日  
NY原油先物初の100ドル突破

08年09月15日  
リーマン破産法適用申請

09年1月  
調査開始以来最低数値(-82.5)記録

11年3月  
東日本大震災

14年4月  
消費税率8%に引上げ

16年2月16日  
日銀マイナス金利導入

16年6月23日  
英国のEU離脱に関する国民投票

17年/2月  
-20.6

## 小規模企業景気動向調査(2月期)における商工会経営指導員の主なコメント

\* コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

### 1. 景気全般

#### <改善傾向を示すコメント>

・建設業は下水道工事があり好調である。製造業は業種において波があり、小売り、サービスは横ばい。  
(福島県大東商工会)

・完成間近の公共工事や商店街内の新改築工事が増え活発な印象を受ける。金融機関の貸出は、順調な借換えが実行されており、現在のところ安定した経済状況といえる。

(愛媛県西予市商工会)

・建設業は年度末の公共事業受注で完工高増。資金需要は全体的に少ない。観光開きに合わせ、観光施設と土産物(菓子製造業)が上向き。

(高知県日高村商工会)

・景気がよくなっているわけではないが、昨年より降雪が多いため、スキー客を対象とする宿泊業や除雪を行う建設業を中心に売上が増加し、一般的に経済状況はまずまずである。

(新潟県妙高高原商工会)

・地域経済業況は、大きな変化がないように感じられる。鋸南町は初春の観光シーズンに入ったこともあり、宿泊業・飲食業は売上・入込客数が増えているように感じられる。金融機関の貸出態度には変化はない。

(千葉県鋸南町商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・積雪については例年並みで推移しており、除雪作業もほぼ終了時期を迎えておりますが、旅館飲食業界は低調であります。一方金融機関の貸付については充分相談に乗って頂いております。

(山形県南陽市商工会)

・大雪の影響による交通機関の運休、道路事情の悪化があった。経済的にも大きく影響した。金融機関の対応は問題なし。

(鳥取県八頭町商工会)

・事業者の高齢化による廃業が相次いでおり、今年度でも10件以上の廃業が相次いでいる。地場産業であるタイル業界は、売上自体は若干あがりつつあるが、利益の確保までには至っていない。

(岐阜県笠原町商工会)

・建設業については、熊本震災復興に関する業務増加に伴い人材が不足している。持ち帰り・配達サービス業においては、熊本の震災の影響により取引事業所の支店撤退や取引事業所の社員退職により、売上が月20%以上減となり、厳しい業況にある。

(福岡県小郡市商工会)

・富士山の日、プレミアムフライデーと誘客要素となるイベントはあるが、消費に関してはいまひとつ伸びていない状況である。

(静岡県蒲原商工会)

### 2. 製造業

#### <改善傾向を示すコメント>

・钣金関連の製造業は、大口の受注も獲得し工場移転を計画。新工場へ導入予定の設備投資を含めた、経営力工場計画を申請。

(静岡県新居町商工会)

・部品加工業については、新日鉄関連や自動車関連の仕事が活発になりつつあるようで、下請業者の稼働率も上がっており、断ることもあるとのこと。

食品製造業について、同業者の廃業により、その分の受注が回ってきた。

(福岡県芦屋町商工会)

・食料品関連の製造業は、安定した売上高を維持している。

繊維工業関連の製造業は、雇用増による機械稼働率の向上で、売上高も増加している。

機械・金属関連の製造業は、外注経費等の値上げにより採算が低下。

(鳥取県中部商工会産業支援センター)

・プラスチック加工関連の製造業は、需要が増加傾向であるため売上や採算は安定するようになってきている。

(兵庫県太子町商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・機械部品関連の製造業は、受注が増加傾向であるが単価が安く収益は上がっていない。

(岐阜県本巣市商工会)

・金属製品製造業は受注良好であるが単価の面で厳しい案件もある。

干物製造業はイカの不漁による仕入単価の上昇で利益圧迫

(佐賀県唐津上場商工会)

・漁船用機械関連の製造業は、2月までは海がしけているため漁獲量自体が減少している。これにより、機械修繕等の発注依頼が減少している状況にある。

(愛媛県長浜町商工会)

・食料品製造業: 大手による国産原料の囲い込みが止まらない

繊維工業: 新規人材がなかなか集まらない

機械製造業: 来期の売上増につながる引き合いは多いが、従業員が不足し生産体制が安定しない

(山口県岩国西商工会)

### 3. 建設業

#### <改善傾向を示すコメント>

・復興関連の建設業は年度末もあり、受注件数等は少ないものの、次年度の復興計画に入札等も多く見込まれ安定的な売上の確保が見込まれている。

(宮城県本吉唐桑商工会)

・建築関係はソーラー発電の設置業者は好調だが、そろそろ限界がきている。土木関係は公共工事が急に増え始め好調である。

(茨城県水戸市内原商工会)

・設備関連の建設業は凍結などの影響により急な対応で仕事増になっている

(長野県南箕輪村商工会)

・電気工事関連の建設業は、地域外の受注工事があり、この時期には稼働振りが良い。

(青森県市浦商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・職別工事業者では、マンションや公共施設等の建築需要の低迷によって、売上・採算が悪化している。設備工事業者では、下請事業者の確保難や受注単価の低下によって、採算が悪化している

(滋賀県甲良町商工会)

・冬季間の除雪業務に加え、年度末を控え各社とも受注は結構抱えておりますが、慢性的な人手不足と建設、建築資材の高値安定により採算が合わない現場が結構あります。

(山形県南陽市商工会)

・公共事業がほとんどなく、今後行われる大規模な工事は町外の建設業者が受注しているために民間の需要に頼らざるを得ないが、競争が激しく利益の確保が困難である。

(茨城県阿見町商工会)

・建築業では、受注件数が増加し忙しくなっているが、事業所によっては、価格交渉によりなかなか利益につながらない事業所もある。

(香川県高松市中央商工会)

・建設業全般、厳しい状況にある。特に頼娃町では不渡、銀行取引停止の企業もあり。

基礎工事、内装業、電設業、塗装業等、建物建築全般の業者がある地域のため、連鎖的に厳しい業況にある。

(鹿児島県南九州市商工会)

### 4. 小売業

#### <改善傾向を示すコメント>

・年末商戦を終えて、1～2月は落ち着いている。羽村市商工会で、2月19日に地域商品券を発行したので、それに期待しているということだった。

(東京都羽村市商工会)

・衣料品小売業は、寒さもあつたため、売上が伸びたところもある。

(奈良県平群町商工会)

・衣料品は気温低下が続いたため、冬物の売上は持ち直し継続。冬物のバーゲンもある程度順調な動きを見せている。

食料品は年始消費の影響からか、2月は支出が鈍化傾向。

(富山県射水市商工会)

・食品小売は野菜等の価格がおちつき季節的な要因が解消した様子

(広島県三次広域商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・少子化により入学シーズン需要の対前年度割れが継続している。食料品関係は仕入単価の向上が経営の足かせ担っている。またコンビニ等では学生アルバイトの入替時期であるが、パート社員同様、早朝・夜間の応募状況が振るわず、人材確保に苦慮している。

(埼玉県吉見町商工会)

・漁業が基幹産業の一つであるため、顧客でもある漁業者の不漁による所得の低下により、地域の小売業者についても一部あおりを受けている。

(長崎県対馬市商工会)

・ガソリンスタンド等は、少雪厳冬により灯油の販売は伸びたものの少雪のため除雪業者の稼働が下がり、車輛向け軽油等の販売が大きく減少した。他の小売業は大きな変化なし。

(北海道小平町商工会)

・衣料品小売:2月の売上は特に厳しく、1日に1人の来店もない日があった。他地域の同業者がまた1件廃業した話を聞き、業界全体が厳しさを増している状況のようだ。例年なら入学シーズンで制服等の消費が動くが、それも少子化の影響なのか少なくなってきた。

食料品小売業:保育園等の児童施設からの注文も徐々に減少しており少子化の影響が感じられる

(山口県岩国西商工会)

・食品や衣料品・日用品等の最寄品については、低価格帯で販売するスーパー等が増加して価格競争となっている事と消費者の節約志向が強い事から悪化傾向となっている。

耐久消費財についてはネット通販を中心に安定しており、全体的に大きな変化は見られない。

(滋賀県瀬田商工会)

## 5. サービス業

### <改善傾向を示すコメント>

・飲食関連のサービス業は、初春の観光シーズンということもあり売上・入り込み客数は増加しており業況は良い。仕入値の上昇が問題となっている。

(千葉県鋸南町商工会)

・宿泊関連に関しては「君の名は。」の影響により、特に、中国・台湾・香港のお客様が増えています。理美容に関しては 人口の減少により全体に売上の減少がみられるのは相変わらずではあるが、組合の決まりによる縛りが大きく影響している様子が見受けられる。組合に加入すると自店のPRを独自にすることができないため、加入せずに独自に工夫して営業している店舗にはコンスタントに顧客が集まっているようである。

(岐阜県古川町商工会)

・当地においてはスキー客対象の宿泊業者が商工業者全体の半数近くを占めている。昨年に続いてスキーのインバウンド客が多く来ており、売上は昨年並みか少し上回りそうである。

(新潟県妙高高原商工会)

・運送関連のサービス業は、大手の運賃の値上げによって、中小も値上げできる環境となる事が期待でき、将来的な収益の改善が期待できる。

(石川県中能登町商工会)

### <悪化傾向を示すコメント>

・暖冬の影響で郊外のスキー場は人出が減少し、冬物衣料も早々に春物に切り替えざるを得なかったようだ。宿泊施設や飲食業関連も1~2割売り上げが減少したとの話しが聞かれた。2月に限らずここ最近では消費が冷え込んでいると感じていると宿泊、飲食店経営者のコメント。

(宮城県みやぎ仙台商工会)

・料理飲食業界は、家飲み(自宅での飲食)が増え、各社とも相当苦慮しており、お客様の回転率も0.5程度とお客様が一人もこないという日が何日も続いたお店もあり苦慮しております。

(山形県南陽市商工会)

・旅館・飲食業は、天候不順などで客足が伸びなかった。クリーニング業、理美容業は閑散期では例年通りの業況と思われるが、人口減少で顧客も減少傾向にある。

(愛知県豊浜商工会)

・洗濯業等は、消費者の節約志向や低価格衣料品の増加による1シーズン使い切りの浸透、家庭用洗濯機の性能向上や丸洗い衣料品の増加に加えコインランドリーの増加等で厳しい状況。理美容については、大幅な変化は見られないものの、低価格帯店の増加や消費者の利用回数減により伸び悩み傾向にある。

(滋賀県瀬田商工会)

・旅館関連の製造業は、1月に宴会、ケータリングの売上が好調だった影響でやや減少した。洗濯関係のサービス業は、横ばい傾向が依然と続く。預かり品が多く、保管スペースにも限界があるため、早期の現金化を希望するがそうもならない。理・美容関係のサービス業は、あまり変化は見られない。

(岡山県作州津山商工会)

・飲食店など仕入れ額の上昇で利益確保が難しい状況である。価格設定においては都市部とは違い、地域性もあり値上げもなかなか出来ない厳しい状況である。

(兵庫県上郡町商工会)